

コミュニティ佐潟バスの運行見直しに係る地域説明会

日時:令和 7 年 11 月 7 日(金)18:00～

場所:赤塚連絡所2階 大会議室

次 第

- 1 コミュニティ佐潟バス運営委員会会長あいさつ
- 2 これまでの検討経緯について
- 3 新しい運行形態について
- 4 主な変更点
- 5 収支見込について
- 6 利用促進の取組について
- 7 その他

配布資料

- 資料1 コミュニティ佐潟バス運行見直しの経緯
- 資料2 新しい運行事業者等の紹介
- 資料3 主な変更点
- 資料4 令和8年度 コミュニティ佐潟バス収支見込
- 資料5 利用促進の取組

コミュニティ佐潟バス運行見直しの経緯

R7.11.7時点

4.23. コミュニティ佐潟バスの運行見直しに係る地域説明会・意見交換会

- ・住民バス制度、佐潟バスの現状(運行体系、収支状況)、見直しの経緯、各区の住民バスの運行体系、今後の見直しについて説明
- 今後の円滑な見直しに向けて、上記の内容を地域で確認。

6.13. 第1回 新交通検討会議

- ・利用状況の分析とそれを踏まえた最適な運行形態(車両規模)の検討
- ・参考見積を元に運行事業者の検討
- 運行形態はジャンボタクシーと大型バスの組み合わせを基本としつつ、さらに複数の業者から見積を徴取してより最適な事業者を探す

7.16. 第2回 新交通検討会議

- ・見積徴取状況の共有
- ・各地域で実施中の「道路運送法の許可・登録を必要としない互助による輸送の事例共有(病院の送迎バスや自家用車による病院付添、買い物のボランティア輸送)

9.3. 第3回 新交通討会議

- ・運行事業者の選定
- ・今後のスケジュールの共有
- 各業者の見積と西区役所が示した運行パターンを元に、運営委員会で後日検討

9.18. ～ 運行事業者の選定

- ・複数の事業者と交渉開始

10.9. 運行業者の決定

- ・太陽交通と新潟交通観光バスに決定、事業申請手続きへ

11.7. 地域説明会

- ・令和8年度からの運行体系について説明

新しい運行事業者の紹介

新旧	現体制	新体制	
事業者	新潟交通	太陽交通新潟	新潟交通観光バス
営業所	内野営業所 (西区中権寺)	こばり営業所 (西区西有明)	潟東営業所 (西蒲区大原)
使用車両	大型バス	ジャンボタクシー ※朝のみ 2 台使用	大型バス
乗車人数	立ち乗り含めて 最大 70 名	9 名 (朝のみ 2 台で 18 名)	立ち乗り含めて 最大 70 名
運行期間	通年	4月～10月、3月	11月～2月
車両 イメージ			
市内実績	路線バス 西区バス (中野小屋ルート) 住民バス (内野上新町ルート)	南区住民バス(月潟)	東区区バス 中央区住民バス 江南区区バス 西区バス 西蒲区区バス

(参考)令和6年度乗車実績(令和7年 8 月減便改定後の便のみ掲載)

内野営業所→越後赤塚駅行

(単位:人)

便	7:25	15:00	15:28	16:35
冬季以外	17.0	3.3	6.3	8.7
冬季	24.4	2.9	27.3	15.5

越後赤塚駅→内野営業所行

(単位:人)

便	7:45	15:08	15:52
冬季以外	18.8	2.7	5.7
冬季	41.5	2.2	7.9

※乗降人数は月単位の平均数で、冬以外 の期間と冬の期間のそれぞれ最大値を掲載しています

主な変更点

新旧	現体制	新体制	
項目	新潟交通	太陽交通新潟	新潟交通観光バス
運賃支払方法	現金 りゅうと Suica	現金のみ	現金のみ
両替	車内に両替機あり	運転手が両替、 お釣りに対応	車内に両替機あり
定期券・回数券 販売場所	新潟交通 内野営業所	太陽交通新潟 本社(小南) または車内で販売	(今後協議する)
乗降ボタン	あり	なし	あり
車内電光掲示	あり	なし	あり
車内アナウンス	自動音声	運転手	自動音声
乗降方法	車両後方のドアから乗車、前方のドアから降車	車両中央のスライドドアから乗降車	車両後方のドアから乗車、前方のドアから降車

※バス停の表示板はすべて交換する

※バス停本体は新潟交通の所有物のため、今後協議する

令和8年度 コミュニティ佐潟バス収支見込

項 目	記号	計算式	令和8年見込	(参考) 令和6年度
運行経費見込額 (補助対象経費)	A		11,528,942	11,297,732
運行収入見込額	B		2,210,273	1,404,757
欠損見込額	①	A-B	9,318,669	9,892,975
運行費補助限度見込額	C	A*0.80	9,223,153	9,038,185
収支率見込%	D	B/A	19.2	12.4
補助申請見込額 ①またはC の少ない方	E		9,223,153	9,038,185

※コミュニティ佐潟バスの補助率:80%

項 目	記号	計算式	令和8年見込	(参考) 令和6年度
実施主体負担見込額	②	①-E	95,516	854,790

利用促進の取組(案)

○小・中学生に回数券の配布

新しい運行形態でもこれまで同様にご利用いただけることを体験していただく。

ただ、冬季以外は車両が小さく乗車定員に限りがあるため、学年ごとに配布時期や、利用期間をずらすなど工夫が必要

※予算編成の審議により変更の可能性あり

コミュニティ佐潟バスへの愛着醸成の取組(案)

○愛称の募集

地域住民、小・中学生からバスの愛称を募集する。(景品あり)

○車両ラッピング用マグネットシートのデザインの募集

車両のラッピングはできないため、車両に貼り付けるマグネットシートのデザインを地域住民、小・中学生から募集する。(景品あり)